※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0315

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	（通）数学Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新高校の数学Ａ」　（数研出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の学習を行います。
・授業は教科書と自作プリントを活用します。
　どんな問題もまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。

２　学習の到達目標

（知識及び技能）場合の数と確率，整数の性質又は図形の性質について理解する。
（思考力,判断力,表現力等）基礎的な知識の習得と技能の習熟し，事象を数学的に考察する能力を養う。
（学びに向かう力,人間性等）数学的活動の楽しさや、数学の良さを実感して粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	場合の数と確率，整数の性質又は図形の性質における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。	場合の数と確率,整数の性質又は図形の性質において,事象を数学的に表現･処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	場合の数と確率,整数の性質又は図形の性質における論理や体系に関心をもつとともに,数学のよさを認識し,それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	場合の数と確率	・和集合や補集合の要素の個数が求められるようにする。 ・もれなく重複なく数えあげるための工夫として，樹形図などを理解する。 ・数えあげの基本である「和の法則」，「積の法則」を理解し，それらを活用できるようにする。	a: 場合の数の基礎的な概念・性質、公式の意味を理解している。また、具体的な活用や本単元の数学的な位置づけを理解している。 b: 例題の解法における思考の過程を振り返り、類題の解法を考えることができる。 学習内容に準ずる類題の解法を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 c: 集合・場合の数における数学のよさや楽しさを認識し、ともに学びあうことで考察や理解を深めようとしている。	・小テスト ・定期テスト ・パフォーマンス課題	・授業プリント ・課題プリント ・小テスト ・定期テスト	・パフォーマンス課題 ・授業プリント ・課題プリント
	順列と組合せ	・順序をつけて並べるときの並べ方の総数について理解する。 ・重複順列，円順列の総数を求める場合の考え方について理解する。 ・組合せの総数を求める考え方について理解し，総数を求められるようにし，それらを活用できるようにする。	a: 順列・組み合せの基礎的な概念・性質、公式の意味を理解している。また、具体的な活用や本単元の数学的な位置づけを理解している。 b: 例題の解法における思考の過程を振り返り、類題の解法を考えることができる。 学習内容に準ずる類題の解法を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 c: 順列・組み合せにおける数学のよさや楽しさを認識し、ともに学びあうことで考察や理解を深めようとしている。	・小テスト ・定期テスト ・パフォーマンス課題	・授業プリント ・課題プリント ・小テスト ・定期テスト	・パフォーマンス課題 ・授業プリント ・課題プリント

※令和４年度以降入学生用

2学期	場合の数と確率	・確率の意味について理解する。 ・事象を,集合を用いて表すことができるようにし，各根元事象が同様に確からしい場合の確率の計算ができるようにする。 ・確率の基本的な性質や確率の加法定理，一般の和事象の確率を理解し，やや複雑な事象の確率が求められるようにする。 ・余事象の考えを用いて確率を求めることができるようにする。	a：確率の基礎的な概念・性質、公式の意味を理解している。また、具体的な活用や本単元の数学的な位置づけを理解している。 b：例題の解法における思考の過程を振り返り、類題の解法を考えることができる。 学習内容に準ずる類題の解法を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 c：確率における数学のよさや楽しさを認識し、ともに学びあうことで考察や理解を深めようとしている。	・小テスト ・定期テスト ・パフォーマンス課題	・授業プリント ・課題プリント ・小テスト ・定期テスト	・パフォーマンス課題 ・授業プリント ・課題プリント
	整数の性質	・倍数や約数及びそれらの性質について理解 する。 ・2，5，4，8，3，9などの倍数の判定法について理解する。 ・素因数分解について確認する。 ・最大公約数や最小公倍数について理解する。 ・最大公約数と最小公倍数の関係を理解し，整数に関する問題解決に利用できるようにする。 ・整数を割り算の余りで分類することを理解し，整数に関する問題解決に利用できるようにする。	a：整数の性質の基礎的な概念・性質、公式の意味を理解している。また、具体的な活用や本単元の数学的な位置づけを理解している。 b：例題の解法における思考の過程を振り返り、類題の解法を考えることができる。 学習内容に準ずる類題の解法を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 c：整数の性質における数学のよさや楽しさを認識し、ともに学びあうことで考察や理解を深めようとしている。	・小テスト ・定期テスト ・パフォーマンス課題	・授業プリント ・課題プリント ・小テスト ・定期テスト	・パフォーマンス課題 ・授業プリント ・課題プリント

※令和４年度以降入学生用

3学期	図形の性質	・線分の内分，外分について理解する。 ・平行線と比について理解する。 ・三角形の角の二等分線の性質について理解する。 ・三角形の外心とその性質を理解する。 ・三角形の内心とその性質を理解する。 ・三角形の重心とその性質を理解する。 ・メネラウスの定理とチェバの定理について理解する。	a: 図形の性質の基礎的な概念・性質、公式の意味を理解している。 また、具体的な活用や本単元の数学的な位置づけを理解している。 b: 例題の解法における思考の過程を振り返り、類題の解法を考えることができる。 学習内容に準ずる類題の解法を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 c: 図形の性質における数学のよさや楽しさを認識し、ともに学びあうことで考察や理解を深めようとしている。	・小テスト ・定期テスト ・パフォーマンス課題	・授業プリント ・課題プリント ・小テスト ・定期テスト	・パフォーマンス課題 ・授業プリント ・課題プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度